

はじめに 一本書の構成と概要一

阿部 浩一（福島大学行政政策学類）

シンポジウム開催の挨拶

山川 充夫（前福島大学うつくしまふくしま未来支援センター長・帝京大学）

【基調講演】歴史資料の魅力と活用

五味 文彦（東京大学名誉教授・放送大学）

第Ⅰ部 原発事故警戒区域内の文化財保全 一被災文化財の今後を考える一

福島県における被災文化財等救援活動の経緯と課題

丹野 隆明（福島県教育委員会文化財課）

双葉町における文化財レスキューの現状と課題

吉野 高光（福島県双葉町教育委員会教育総務課）

大熊町内の被災文化財等救出活動について

中野 幸大（財福島県文化振興財団遺跡調査部管理課）

富岡町とそこにあった文化財の震災後の足取り

三瓶 秀文（福島県富岡町役場生活支援課・教育委員会）

第Ⅱ部 福島県の歴史・文化遺産の今、そして未来

警戒区域における「地域の記憶」継承への取り組み 一双葉町泉田家を事例に一

泉田 邦彦（茨城大学大学院人文科学研究科修士課程）

「計画的避難区域」における文化遺産の保護 一復活した飯舘村文化祭が語るもの一

本間 宏（財福島県文化振興財団歴史資料課）

奉納絵馬の救出と地域の活動 一須賀川市朝日稲荷神社の事例一

内山 大介（福島県立博物館学芸課）

福島大学による歴史資料保全活動と地域連携

阿部 浩一

第Ⅲ部 ディスカッションと提言

ディスカッション

報告者全員／司会・菊地 芳朗（福島大学行政政策学類）

福島からの提言 一震災ミュージアム（仮称）の設置に向けて一

菊地 芳朗

あとがき